

モロッコ政治月報(9月)

2014年10月20日
在モロッコ大使館

9月のモロッコの動きを、当地報道を中心にとりまとめたところ、以下のとおりです。要人往来については末尾に一覧表を付しました。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

【主な出来事】

◎モハメッド6世国王が国連演説において西洋諸国の対アフリカ援助政策を批判。

<内政・政局>

1 国勢調査の実施

1-20日、全国国勢調査が実施された。モロッコでは概ね10年に一度のペースで国勢調査がなされており、前回は2004年。

<外交・国際関係>

2 第5回モロッコ・ロシア合同委員会の開催

- (1) 17日、ラバトにて、第5回モロッコ・ロシア合同委員会が開催された。
- (2) 主に農業分野やエネルギー分野について意見交換が行われ、ロシア側からはモロッコからロシアへの農産品の輸出を増加させるよう呼びかけた模様。

3 第2回シリアにおける外国人戦闘員に関する非公式会合の開催

- (1) 16日、ラバトにて、第2回シリアにおける外国人戦闘員に関する非公式会合が開催された(モロッコ及びEUの共同議長)。
- (2) 会合には複数のEU加盟国、アラブ諸国およびトルコらが出席した。
- (3) モロッコからはブリタ外務・協力省次官が、EUからはケルショーブ(Kerchove)テロ対策調整官が出席した。

4 国連総会におけるモハメッド6世国王演説

- (1) 25日、ベンキラン首相は、国連総会の一般討論において、モハメッド6世国王の演説を代読した。

(2) 演説の中でモハメッド6世国王は、発展途上国に対する西洋諸国のアプローチを、それぞれの途上国の独自性を考慮に入れずに西洋的發展モデルを押しつけるものであるとして強く批判。

(3) また国王は、アフリカ諸国に必要なのは人道的支援よりもむしろ相互に利益をもたらすパートナー・シップであると主張。アフリカ諸国がアフリカ自身を頼りにする必要があると強調しつつ、モロッコがガボンと締結した肥料の生産・調達にかかる戦略的協定を例示した。

(4) なお、出席が予定されていたモハメッド6世国王は結局出席せず。

<モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
9月7日	チュニジア	ベンキラン首相	チュニジア投資セミナー出席
9月7日	チュニジア	ブーサイド経済・財政大臣	チュニジア投資セミナー出席
9月7日	チュニジア	ベンアブドゥラ住宅・都市政策大臣	チュニジア投資セミナー出席
9月21日	米国	ベンキラン首相	国連総会出席
9月21日	米国	メズアール外務・協力大臣	国連総会出席
9月21日	米国	ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣	国連総会出席

<外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
9月15日	ルクセンブルク	アセルボルン外務大臣	メズアール外務・協力大臣と会談
9月17日	ロシア	フィオドロフ農業大臣	第5回モロッコ・ロシア合同委員会出席

(了)